

市民満足度調査の結果が出ました

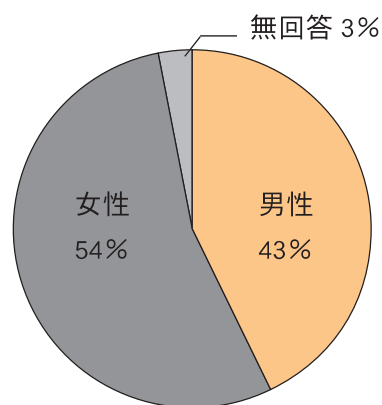
平成22年度に実施した「市民満足度調査」の集計結果をお知らせします。
 この調査は、「市政全般における満足度」、「もっと充実してほしいと感じている施策」について、市民がどのように感じているかをとらえ、市政全般における市民満足度を把握するとともに、政策別に今後重点を置いていかなければならない事項を整理し、その結果を今後の市政運営に活用するために実施したものです。
 調査にご協力いただいた皆さんに心から御礼申し上げます。

【調査の実施概要】
 ◎調査期間：平成23年2月14日(月)～3月18日(金)
 ◎調査対象：市内に在住で20歳以上の方および外国人登録者から無作為に抽出した3,000人
 ◎回答件数：1,183件(回収率：39.4%)
 ※平成21年度1,199件(回収率：40%)、20年度1,570件(回収率：52.4%)

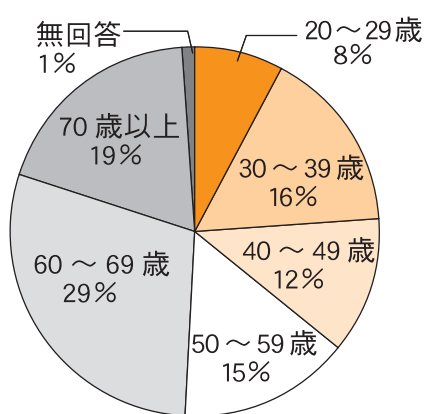
この調査については、設問ごとに男女別、年代別、地域別に分けて分類し、詳細な傾向をつかむことができるように取りまとめを行っていきます。また、この調査で寄せられた多くの自由意見についても、政策別に分類し、今後の市政運営に役立てていきます。

(1) 回答者の構成

①性別

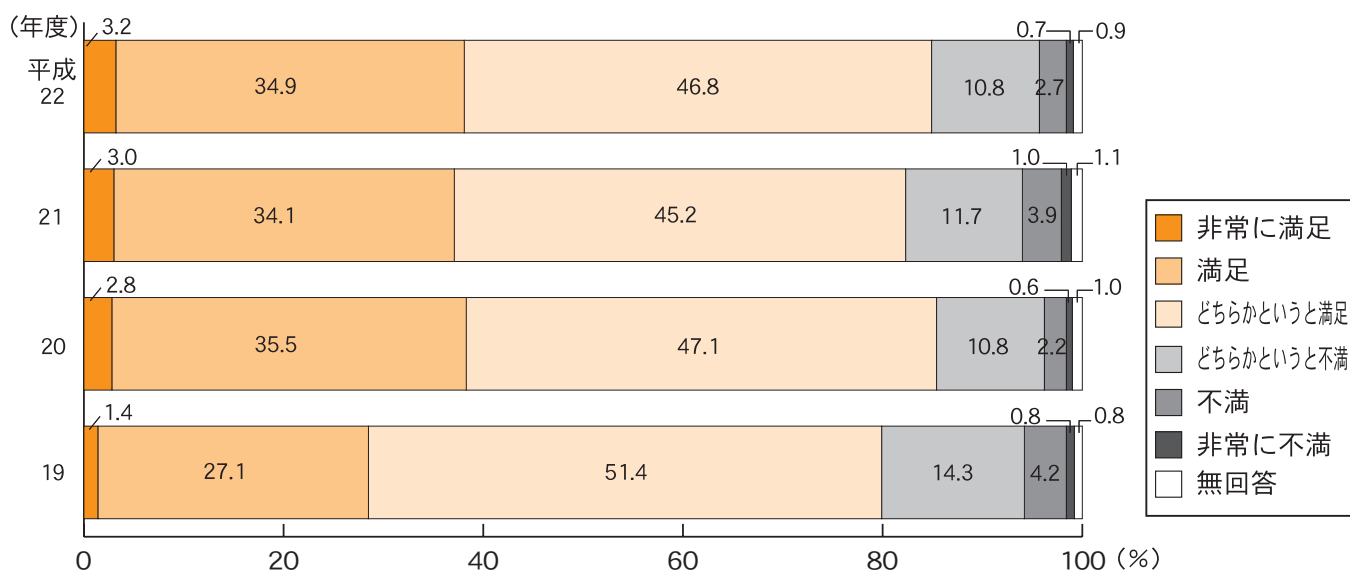


②年齢



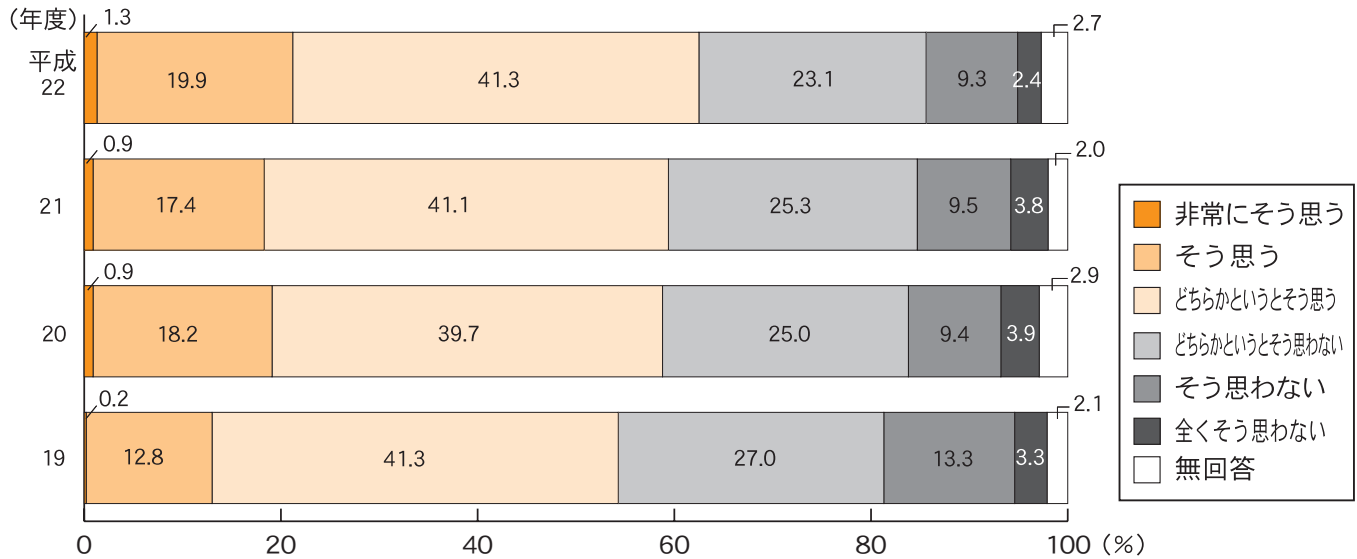
(2) 市政全般における満足度

①牛久市の住み心地は？



前年度と比較してみると、「非常に満足」、「満足」、「どちらかという満足」の合計は2.6ポイント増加しており、依然として全体の約8割の市民が牛久市の住み心地に満足している状況です。

②牛久市の行政サービス水準は、納めた税金に見合っていると思いますか？



「非常にそう思う」「そう思う」「どちらかというと思う」と感じている市民の方の割合は年々増加しており、平成22年度は62.5%となり、全体の6割を超えました。

(3) 「もっと充実してほしい」と感じている施策は？

「もっと充実してほしいと感じている施策」ベスト10(施策数：165)※()内は平成21年度の順位。

★「もっと充実してほしいと感じている施策」とは…

市では、「第2次総合計画(計画期間2001年～2010年)」に基づき、「あたたかみのあるまち」を実現するために37の政策分野を推進してきましたが、これらの政策分野は合計165の施策で構成されています。今回の調査では、今後もさらに充実してほしいと感じている施策についてお聞きしました(複数回答可)。

順位※	政策分野	施策名称	件数
1(1)	安全・安心	夜道を明るくする(防犯灯など)	801
2(2)	安全・安心	安全な道路環境をつくる(カーブミラーなど)	738
3(3)	環境保全	良好な緑地や水辺環境を将来に残す	710
4(4)	環境保全	霞ヶ浦や牛久沼の水質を良好にする	709
5(5)	福祉	ひとり暮らしなどで支援が必要な高齢者が在宅で自立した生活を送るために必要な福祉サービスを提供する(緊急通報システム、配食サービス、外出支援用具購入助成など)	702
6(7)	環境保全	市民のごみの削減や資源化により効率的に収集し処分する	619
7(15)	教育	市民が手軽にスポーツ活動に参加できる機会を提供する	602
8(6)	地域経済	牛久駅とひたち野うしく駅周辺を活性化(中心市街地の活性化事業)	599
9(8)	福祉	高齢者の生きがいや障害者の積極的な社会参加の体制をつくる(福祉センターなど)	584
10(10)	地域経済	地産地消の割合を高める(公共施設への直売所の開設、うしく河童米の販売促進、学校給食へ食材の提供、食材の加工など)	582

上位10項目のうち、9つの項目が昨年に引き続きベスト10入りしていて、安全・安心な生活を確保するための施策、環境の保全を求める意見が上位を占めています。

※この調査結果は、市政策秘書課ホームページおよび情報公開統合窓口で公表していますのでご覧ください。

問い合わせ 市政策秘書課 ☎内線3201

ホームページ http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/hisyo/manzoku/1ma_index.htm